

山行計画

箱根湯坂道 (吉田)

11月27日(日)

集合：箱根湯本駅改札9：00

箱根湯本駅で9：15発元箱根港行きのバスに乗車、畑宿で下車(15分、390円)

コース：箱根湯本駅－(バス)畑宿－飛竜ノ瀧－湯坂路入口－鷹ノ巣山(834m)－浅間山(昼食)－湯坂山－箱根湯本 歩行時間約3時間

希望者は湯本で入浴可能

参加者：吉田 加賀屋 鈴木 佐藤文 三浦 武石 野間 瀧 池田 山下(10名)

大山三峰山：忘年山行 (一之瀬)

12月17日(土)：集会日

集合：本厚木駅バス乗場7：30 バス宮ヶ瀬行7：50

5番乗り場 駅の前 道路を渡った所

コース：土山峠－辺室山－分岐－物見峠－三峰山－分岐－不動尻－山神隧道－広沢寺温泉

参加者：吉田 鈴木 佐藤文 一之瀬 (国島) 山下

山行計画 秦野・弘法山(新年会)1月14日(土)

詳細後日

山行報告

一ノ倉沢出合 9月17日(土)～18日(日)

参加者：前田、OB(吉田元、星沢、砂川、生艸)

9月17日 曇り、夜半から雨

6時：富岡～7時30分：浅田～11時25分：上毛高原～13時30分：谷川岳ロープウェイ駐車場～16時：一ノ倉沢出合テント泊

9月18日 雨

9時30分：一ノ倉沢出合～谷川温泉11時30分～14時20分：上毛高原～20時：最終帰宅

一ノ倉は本降りでした。幽の沢の大滝までも思いましたが、断念しました。マチガ沢の出合では道路上が川でした。生艸さん、星沢さんとも久しぶりで、とても楽しそうで雨をよそに宴会がつづき、谷川温泉に寄ってからの帰宅とな

りました。上毛高原で星沢、それから吉田、生艸、砂川の順に車で送り最終帰宅は前田で20時でした。

費用：交通費 一人4000円

飲食費 砂川さん提供につき無料

宿泊費 テントにつき無料 (記録：前田)

涸沢～北穂高岳 10月112日(火)～14日(金)

参加者：前田、佐藤文、野間 OB(吉田元)

別紙2枚：佐藤文



(写真：前田)

湯ノ沢峠～大菩薩嶺～牛の寝通り

10月29日(土)～30日(日)

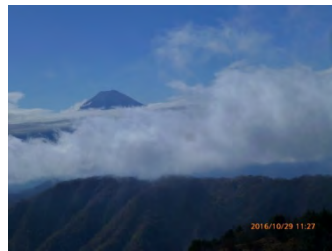
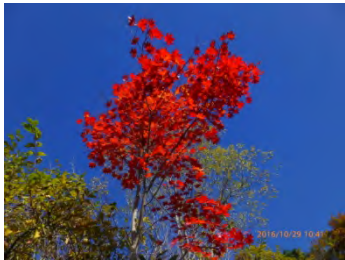
参加者：吉田 前田 鈴木 佐藤文 一之瀬 国島 前島
瀧 堀江 (9名)

コースタイム 1日目 湯ノ沢峠 10:25-白谷ヶ丸 11:10-黒岳 11:30、12:00(昼食)-牛奥ノ雁ヶ腹摺山-13:10、13:25-小金沢山 13:55、14:10-石丸峠 15:15-大菩薩峠(介山荘) 15:40

2日目：大菩薩峠(介山荘) 6:40-大菩薩嶺 7:25-大菩薩峠(介山荘) 8:08、8:20-石丸峠 8:55-樺ノ尾山 9:58-大ダワ 11:05-小菅の湯 12:45、バス 14:41 発-猿橋駅 15:33、15:51-八王子駅 16:42

八王子駅7時の集合に間に合うようにと眠い目をこすりながら早朝の電車に乗り込んだところが横浜線鴨居駅で人身事故が発生で電車は不通、各人が苦労した末に1時間遅れて八王子に全員集合。疲れた、寒かった。

甲斐大和駅より予約のタクシー2台(1台6000円程)で湯ノ沢峠(1652m)までの高度と時間をかせぐ、峠からは山腹の西側の急斜面を登ると気持ちのいい草原状の白谷ヶ丸に、富士山も雲の上に頭を出していました。



樹林の道へと変わり黒岳に着くと11時半。
朝が早いのでここで昼食とする。



黒岳～牛奥ノ雁ヶ腹摺山の登山道



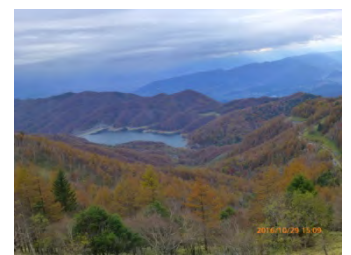
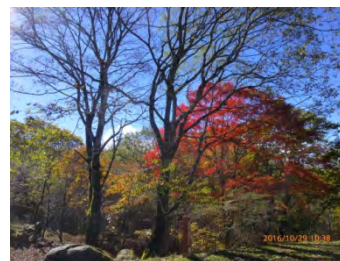
1時間ほどで「うしおくのがんがはらすりやま」に、この山は文字数が14字で日本一長い山としてテレビでも



牛奥ノ雁ヶ腹摺山

取り上げられていた。

雲が邪魔をして富士や南アルプスの展望がなくてがっかり、歩きだすにつれ左下に大菩薩湖が見える。
次の小金沢山(2014m)は南大菩薩の最高点である。



石丸峠までは幾つかのアップダウンを繰り返す。

一面の笹原の中に狼平と呼ばれる地点を通過、狼が出て来ても不思議ではないような風景でした。

天狗棚山を登り切ると広々とした草原の石丸峠に着く。熊沢山を越え樹林のなかを進むと今日のゴール大菩薩峠(介山荘)に到着。



石丸峠を越えて前方は熊沢山

計画ではこの後2時間かけて大菩薩嶺を往復する事になっていたが明日に変更。

介山荘の宿泊者は30人ほどで、小学生のかわいい子供たちが両親の手伝いをする姿が微笑ましく、家庭的な雰囲気の良い山小屋であった。

首都圏から手軽に来ることが出来る小屋ということもあって、有名人の色紙や新年会の寄せ書きが沢山ありました。



2日目：朝4時に小屋の外に出て見ると雨は止んだ後だが視界が悪くてがっかり。

6時の朝食を済ませ、各自荷を軽くして介山荘から大菩薩嶺まで往復2時間の道のりを歩く。

大菩薩峠ミニ知識

「大菩薩峠は江戸を西に距る三十里」は中里介山作「大菩薩峠」の書き出し、この峠道によって関東平野と甲府盆地を結ぶ青梅街道は、海拔2000mに達する高い分水嶺を越えていた。

大菩薩峠は明治初年まで現在の峠の北方、^{おやしらず}親不知ノ頭と妙見ノ頭との鞍部の賽ノ河原にあった。

冬季には風雪の難儀があり、強風のときには親をもかばってられないとして親不知の名がある。

丹波村・小菅両村は甲州でも有数の僻村で、日常の必需物資は大菩薩峠を越えて萩原村（現在の塩山）から送られる以外にルートがなかった。

しかも峠道は幅が狭くて駄馬が越えられなかったもので、運搬はすべて人の肩に背負われた。

こうした荷を背負子に付けた人足が毎日30人以上も峠を登って行ったそうである。

余談になるが知り合いに街道歩きを長く続けている人がいるが青梅街道では小菅村から大菩薩の間だけが空白区間になっているそうである。

その理由は人に会わないうえに熊がいるのと、山登りの体力に自信がないからだそうである。

雷岩を過ぎるとすぐに大菩薩嶺（2057m）、日本百名山の山頂にしては平凡なピークで、おまけに樹林で展望がまったくないのである。



日本百名山・大菩薩嶺



大菩薩峠・介山荘

明るく展望の開けた雷岩のあたりが大菩薩の雰囲気

醸し出す一番楽しいところであるが、残念ながら今日は一面の霧でわずかな視界のなかの往復で終始した。

昨日の石丸峠まで戻り、いよいよ牛の寝通りに足を踏み入れる、ほとんど平らな尾根は牛の寝た背中を歩くようだと牛の寝通りの名が有るそうである。

下り始めは勾配があるがやがて殆ど水平の道に変わる。

期待していた紅葉は盛りを過ぎ、落葉している色とりどりの葉を踏みながら黙々と下る



霧の牛の寝通り

一列になり視界が20mほどの広葉樹の尾根を歩き続けると小菅の湯への下降点である大ダワに着く。

大ダワからは本格的な下りとなり、最後の植林のなかのジクザクの下りは長くてうんざりした。

小菅の湯に着くと、道の駅こすげを会場に「第19回の大地の恵みまつり」が開催中で、模擬店でにぎわっていた。

バスの待ち時間まで入浴、ビール（寒いので日本酒の熱燗に換える）、農産物の買物とそれぞれ時間を過ごし14時41分の最終バスで猿橋駅へと向かった。

今回の山行で大菩薩から高尾山まで2年にわたり、5回の山行で歩き通すことが出来ました。

（記録：吉田、写真：佐藤、一之瀬、吉田）

忘年会（幹事 前田）

日時：12月10日（土）18：30～

会費 5400円

場所：中華街 龍華楼（昨年と同じ）

045-641-7088 山下町139番地

待合せ：18：15 石川町駅北口 徒歩7分

来年度年会費

現会員：6000円

10月8日の集会で年間の収支を検討した結果、前年より1000円値上げに決定しました。

納入期限は年内となっていますので在会希望者は会計の瀧、三浦に納めて下さい。

忘年会のときの支払いにはアルコールも入りますので出来るだけ避けて下さい。

集会記録 10月8日（土）（吉田）18：00～20：00

出席者：吉田 前田 加賀屋 鈴木 高橋泰 佐藤文
三浦 国島 武石 野間 瀧 角田 池田
芳賀 堀江 山下（16名）

山行報告

9月17日（土）～8日 一ノ倉沢出合（前田）
参加者：前田、OB（吉田元、星沢、砂川、生艸）

9月22日～24日 北穂高岳（山下）

参加者：山下他1名

9月25日夜行 26日～27日 赤岳～編笠山

参加者：吉田 大沢 鈴木 一之瀬 国島 武石 野間
前島 阿部 星野 堀江（11名）

10月2日～4日 大雪山（武石）

大雪山の紅葉を見に行ったが前線の影響でロープウェイが運休であった。紅葉は1週間から10日遅れている。

山行計画

10月29日（土）から30日（日）

湯ノ沢峠～大菩薩～小菅の湯（吉田）

12月17日（土）集会日 大山三峰山：忘年山行
（一之瀬）

リーダー会 講習

次回は国島が遭難について担当する。

いつまでも山行出来る体力を維持出来るかというテーマを検討している（前田）

集会記録 10月24日(月)(一之瀬) 18:00~20:00

出席者: 吉田、前田、鈴木、佐藤文、一之瀬、武石、阿部、国島、前島

1. 山行報告

①上高地・涸沢・北穂高 (佐藤文)

10月13日(木) 夜行~16日(日) 4名参加

夜行で松本へ。松本泊。翌日上高地までタクシーで入山。上高地から横尾へ。テントの人は設営。涸沢ヒュッテへ。翌6:00北穂高へ。山頂は晴れていて、360度の展望を楽しむ。横尾まで下山。横尾山荘に泊まり、翌日、横浜へ戻った。

②鷹取山 (前田)

10月23日 クライミングの訓練 2名参加

③北八ヶ岳 (国島)

10月18・19日 北横岳の往復。ロープウェイ利用。北横岳ヒュッテ泊 天気が良く満足した。

2. 山行計画

①湯ノ沢峠—大菩薩峠—小菅の湯 (吉田)

日時: 10月29日(土)~30日(日)

・コースの確認 八王子7:00集合

参加者: 吉田、前田、鈴木、佐藤文、一之瀬、国島、瀧、前島、堀江(10:24時点)

③湯坂路 (吉田)

日時: 11月27日(日)

・畑宿から旧街道を歩く。

・コース・参加者の確認

参加者: 吉田、加賀屋、鈴木、佐藤文、三浦、武石、野間、瀧、池田、山下(10:24時点)

④大山三峰山 (一之瀬)

日時: 12月17日(土) そのまま集会へ

・コースの提案 土山峠—三峰山—広沢寺温泉入口

3. その他

○忘年会 12月10日 龍華楼 18:30~

石川町駅 18:15集合→龍華楼へ

会費 5000円

○来年度会費

6,000円 11月25日(金) 集会で集金

○新年山行 1月14日(土) 弘法山

4. リーダー会

安全な登山のために

(国島)

○遭難しないためには

・地図読み: 標識のあるところで地図を確認する。迷ったら、分かる所へ戻る。

・必要な体力: 装備・食料、早出・早着(迷っても日没まで時間がある)

・冷静な判断: 地図・気象の変化を読む。

・迷ったら: 沢に下らない。高い山は尾根に登る。

○実際に迷ったこと

里山の方が道に迷いやすい。

濃霧・雪で道が分からなくなる。

作業道と登山道を間違える。

目印のテープと伐採の印を間違える。

○地図の活用 地図になじむこと

・コースタイムを把握しておく。自分の位置が予測できる。地図で確認しながら歩く。

・地図を使い、尾根の形、地形を読み込む練習をする。

山行を希望する山

集会日 場所 県民サポートセンター

11月25日(金) 306号室 18:00~20:00

12月17日(土) 1502号室 18:00~20:00

1月16日(月) 602号室 18:00~20:00

1月30日(月) 602号室 18:00~20:00

2月13日(月) 601号室 18:00~20:00

2月27日(月) 601号室 18:00~20:00

3月13日(月) 601号室 18:00~20:00

3月27日(月) 601号室 18:00~20:00

4月10日(月) 601号室 18:00~20:00

4月24日(月) 601号室 18:00~20:00